



第5号 野洲市手をつなぐ育成会

発行者 岩崎 裕子

印刷所 につこり作業所 TEL588-0503

育成会の必要性を感じて

会長 岩崎 裕子

二年前の春に深く考えないまま、副会長に立候補しました。副会長の後は会長の仕事も努める覚悟で決めました。

一度はやらなくてはという思いだったので、会議や書類の多さに頭を抱え込む日々が続きました。それでもここまでこれたのは、前任の会長や、副会長、OBの方々のご理解とご協力があつたからだと思つてい

ます。ありがとうございます。手をつなぐ育成会としての活動は確かに細々としたもので、会としての必要性があるのかと考えられる方もおられると思います。実際、私自身も役員になりました。でも役員になり、まわりの状況を少し把握してみると、会の必要性を

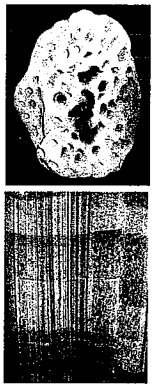
私の二つの宝物

相談役 太田 源太郎

まずは、小・中・高等学校の卒業おめでとうございます。これで立派な節ができました。

人生には、幾つかの節があります。この節は無意識にできたり、自分の好きなことに努力することによってできたりします。

私の家の応接間に今、障がいのある人たちが作ってくれた二つの宝物があります。一つは、粘土の野焼きでできた作品



強く感じるようになりました。障がいの度合いは違つても、援助がなければ子どもたちは、いざれ困難な立場におかれてしまうでしょう。

今必要なことも、将来必要になつてくることも、生活を共にする親である私たちが一番分かっているのではないのでしょうか。要望を出しながら、自分たちができることを地道に積み重ねて行く、このための活動が求められる会だと感じるようになり

ました。周りで育成会を応援して下さる方々は、博識でキラキラと輝いた方ばかりで、本当に励まされました。ありがとうございます。最後に、前年の会長をされ、本年度も副会長として、頼りない私の手を引いてくれた島村さんに心からお礼申し上げます。

です。高さ三センチメートルほどですが十本の指で一時間かけて削りあげてくれました。もう一つは、三か月もかけて削つてくれた「さざり織り」暖簾です。縦糸一本ずつに、配色(デザイン)を考えた一本ずつの横糸。

時々、じっくり眺めさせていた

ともに学び、ともに歩みましょう!

副会長 久 郷 悟

ご卒業おめでとうございます。学校でたくさんのお友だちができましたか。お友だちといっしょに遊んだり、お勉強したりできましたか。みなさんが楽しい気持ちをもつて卒業して、それが私には一番うれしいことです。

これから歩む進路、楽しいなあといっています。結論は、やっぱり「好きなこと」です。私たちは力一杯みなさんを応援しています。

「学びの特性にあった支援を」

細谷 亜紀子

平成十九年度から、幼児・児童・生徒の学びの特性に配慮した支援を進め、自立を目指す「特別支援教育」が始まりました。野洲市においても、担当指導主事の設置、特別支援教育コーディネーターの指名・校内委員

会の設置、特別支援教育等支援委員の配置、巡回相談の実施、専門家チームによるケース検討会等の取り組みを進めています。また、平成二十年度から「発達支

思うことや「どうしたらいいんだろう」と困ることもあるかも知れませんが、困ったときには、家族の人やお友だちにすぐに連絡をしてください。あなたたちを支えてくれる皆さんの人たちがいつしよに考え、動いてくれますよ。野洲市には「発達支援センター」という、すぐに相談にのってくれるところもありますよ。

ご家族のみなさんへ。お子様のご卒業おめでとうございます。お子様それぞれにがんばってくれたことをともに喜びたいと思います。お子様が次のステップへスムーズに歩めるよう、もうしばらくの間見守っていただきたいと思います。

最後に育成会として、お子様たちが将来にわたって有意義な人生が過ごせるようご家族のみな様とともにがんばりたいと思っておりますので、育成会への参加についてご理解とご協力をお願いいたします。

「発達支援センター」が開設されました。この「発達支援センター」を始めとし、ふれあい教育相談センターや医療機関等との連携を十分に取しながら特別支援教育の充実を図っています。特に、巡回相談については、発達支援センターの心理判定員と巡回相談員がチームを組み、学校を訪問し、担任支援の立場で、学びの特性と身体的支援についてご指導いただいています。

来年度については、早期からの支援の充実により、子どもたちが自分らしく自立していき、自分らしく生きていける力を育てていければと考えています。そのためにも教職員の研修を充実し、指導力向上を図って行きます。

平成21年度野洲市手をつなぐ育成会事業報告

Table with 2 columns: 事業内容 (Business Content) and 曜日 (Day of Week). Rows list various activities like '役員会' (Board Meeting), '滋賀県手をつなぐ育成会通常総会' (Shiga Prefecture Hand-in-Hand Nurturing Association General Meeting), etc.

「クレール」見学会について

中主中学校 樋上 佳子

平成二十一年十一月九日多賀町の参天製菓株式会社の特例子会社クレールの見学会がありました。

・無塵服、無菌服などの

従業員：二十五名

(内)障がい者数二十名

平均年齢：二十五・三歳

就労時間：九〜十七時

休日：土、日

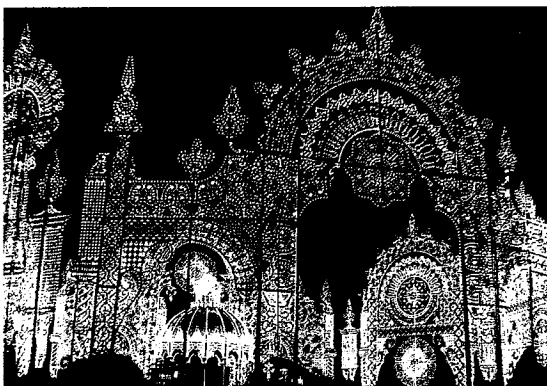
時給：九百五十円

緑が多い工場地帯にある、とてもきれいな会社でした。従業員の皆さんは、とても明るく気持ちのいいあいさつで迎えてくださいました。

クリーンルームの窓越しから、従業員の方たちが、無菌服に全身を包

☆☆☆神戸ルミナリエ☆☆☆

十二月一日(火)阪神・淡路大震災の犠牲者を追悼し復興を願う「神戸ルミナリエ」の、開催前に行われる障がい者を招いた鑑賞会「ハートフルデー」に、守山市手をつなぐ育成会の皆さんと一緒に参加しました。午後六時半、カウントダウンと共にイルミネーションが点灯されると、拍手と歓声が湧き上がりました。コンサートも開かれ、光のシャワーをあびながら、きれいな音色に包まれて温かい気持ちになりました。



み、立ち作業をされているようすを見学させていただきました。手際よく作業をされていてびっくりしました。

企業の手厚い繰り返し返しの支援と従業員の努力で、処理枚数は十年間で二倍になったと聞きました。

仕事に対する支援だけでなく、会社が従業員の自立支援に向け、財形貯蓄の奨励、スポーツ体力作り、健診、ボランティア活動、地域活動

障害者技能教育大会への参加に取り組みされているようすも紹介されました。

会社が従業員に求めるものは、何のために働くかという「目的意識」を持つこと、「意欲」「協調性」「あいさつ」だそうです。

親として子どもを社会に送り出すために大切なことは、基本的な生活習慣を身につけさせること、自宅で本人に役割を持たせることだそうです。

仕事は意識と反復で絶対にスキルアップする、「仕事は最大のリハビリ」という言葉が印象的でした。

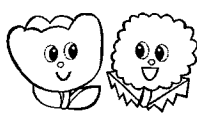
このような特例子会社がどんどん増えていってほしいです。



チャリティーバザー



十月十七日(土)アルプラザ野洲にてチャリティーバザーを行いました。会員の皆様をはじめ多くの方々に物品を提供していただき、ありがとうございました。バザーの収益金は本会の活動資金として有効に使わせていただきます。



久郷先生ありがとう!

田中 規久子

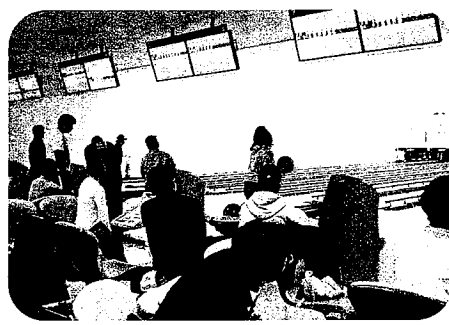
久郷先生と初めてお会いしたのは、今から四半世紀も前のことです。息子(タウン症)が三上小学校在籍の時、野洲中学校に新設されたことばの教室に、毎週通っていたおり、息子のありのままの姿を受け入れてくださった先生と、親子で楽しい時を過ごしました。その後、私が育成会の役を引き受けた折も、先生には事務局として随分と助けていただきました。ありがとうございました。

今年十月十七日には、滋賀県知的障がい者教育福祉振興大会が野洲市(文化ホール)で開かれることになり、当育成会では、先生を中心に実行委員会を立ち上げたところです。会員の皆様にも、大会への全員参加や準備にご協力をいただきたいと思えます。何卒よろしくお願い致します。



OBボーリング大会

一月二十三日(土)栗東ボーリング・ジムにてボーリング大会を行いました。お互いのプレに声援を送る姿や、素敵な景品を手にして喜ぶ姿が見られ、親子で楽しい時間を過ごしました。



♡ 編集後記 ♡

野州市手をつなぐ育成会広報「きらきら」第五号を発行しました。取りかかりが遅く、原稿をお願した皆様には、日数の少ない中、原稿をお寄せいただいたことに感謝申し上げます。育成会の一年間の活動の様子をお伝えできれば嬉しく思います。

